

T-4番 要約

1 被害者

匿名、住所地非公表。現在高校3年生（接種時中学3年生）

2 ワクチンを接種する前の健康状態等

健康、生徒会副会長、バドミントン部副部長

3 ワクチン接種経過

2011年 自治体より接種のパンフレット 中学3年生3月まで無料と記載

8月8日1回目、9月6日2回目サーバリックス接種。

注射時に痛み、2・3時間で腕が強く痛み始め1週間腕が上がらない。

2012年

2月7日3回目サーバリックス接種

注射時に激しい痛み、1・2時間で肩の付け根から手先まで紫色に変色、膨張。2・3時間で腕の芯から「ばきばき」というようなひどい痛み。それまで左32あった握力が0になった。左腕の痛み以降続く。

9月、11月 頭痛・吐き気

2013年

2月～ 肩の痛み・頭痛・吐き気

2月13日 失神 翌日より足に力が入りづらくなる

以降頭痛、吐き気、ふらつき、めまい、目のちらつき、倦怠感、脱力感、手足の痺れ・脱力・冷感、足の浮腫み、胸・足の痛み、呼吸困難、過呼吸、微熱、口内炎、生理痛の悪化、味覚障害

9月～10月 記憶障害 いつも使う駅で迷いGPSを使って帰る、友達の名前も分からなくなる

現在、週の半分くらい登校

4 現在の症状

肩・腕の強い痛み、頭痛、吐き気、ふらつき、めまい、手足の痺れ・脱力・冷感、胸・足の痛み、微熱、口内炎、生理痛の悪化

5 所見

複合性局所性疼痛症候群（CRPS）

6 受診医療機関・診療科

15

7 救済制度

申請済、審査中

T-4番

1 はじめに

私は、1996年生まれの高校3年生です。私は、子宮頸がんワクチンを接種してから健康だった身体が一変し、様々な症状が出るようになってしまいました。なんでこんな身体になってしまったのかと、悲しくて仕方ありません。以下、私の身体に起きたことについてお話ししたいと思います。

2 子宮頸がんワクチンを接種する前

私は、子宮頸がんワクチンを接種する前までは、病気らしい病気をしたことはなく、健康でした。特に通院しておらず、薬も飲んでいませんでした。学校も、1年に2、3日風邪などで休むことがあるくらいで、ほぼ皆勤でした。アレルギーも、花粉症があった程度です。

生徒会の副会長と、バトミントン部の副部長をしていました。

3 子宮頸がんワクチン接種の案内

2011年、私が中学3年生の夏に、自治体から子宮頸がんワクチン接種の案内通知が家に届きました。当時は震災直後で、テレビCMでは子宮頸がんのことがしょっちゅう流れていました。学校でも子宮頸がんワクチンのポスターが貼ってあり、保健の授業で先生が「みんな当然受けるよね。」と言っていました。私の家に自治体からの通知が届いたのは遅い方で、その頃にはほとんどの友達の家には自治体からの通知が届いていました。友達みんな接種していたので、私も接種するものと思っていました。自治体からの通知には、中学3年生の3月までに受けたら無料と書いてあったので、それまでの間に受けることにしました。副作用があることについては、全然知りませんでした。

4 ワクチンの接種

2011年8月8日、子どもの頃からのかかりつけ医のA診療所で1回目の接種を受けました。A診療所では受ける前にワクチンの説明文を渡されましたが、特に読み上げて説明されることもなく、説明文はすぐに返してしまったので内容の記憶はありません。

私はそれまでインフルエンザの予防注射も受けてきていましたが、ワクチンの1回目の注射は、私が今まで受けた注射よりも痛く感じました。友達からは、100人に一人、腕に筋肉のない子には痛いと聞いていました。私は筋肉注射自体初めてでしたし、筋肉がないから痛いのかな、と思っていました。ところが、ワクチンを接種して2、3時間たつと、左腕が痛くなり、上に上げることができなくなってきました。場所によって痛みが違い、手先はチクチク、肩はビリビリ、肩の裏側はジンジンしていて、1ミリも動かすことができない状態でした。痛みは1週間ほど続いて、その間は自力で着替えることも、トイレに行くこともできず、お母さんに手伝ってもらっていました。

1週間ほどたったら痛みが治まったので、「こんなものなのかな。」と、特に疑問に思いませんでした。ワクチンは3回打たないと効果がないと聞いていたので、痛いのは嫌でしたが2011年9月6日と2012年2月7日にも接種を受けました。

2011年9月6日には右腕に打ったところ、やはり痛く、右手がその後1週間くらい

動かなくなりました。

2012年2月7日、最後の1回を左腕に打ちました。打った瞬間、前の2回よりも痛く感じました。痛みはそのまま続き、1時間ほどたつと、左肩の付け根から手の指先まで紫色に変色し、膨張してきました。痛みはどんどん増してきて、2、3時間後には腕の奥の方から「ばきばき」というような痛みになりました。腕の芯から全部痛い感じでした。私は以前手首を骨折したことがありましたが、それとは比べ物にならないほど痛く、泣きながら耐えるしかありませんでした。左腕は全く動かすことができず、32あった握力が0になってしまいました。ワクチンを打った直後だったことと、痛む場所が場所だったので、ワクチンが原因としか考えられませんでした。

2月8日、A診療所を受診しました。先生は、私の紫色に変色して膨張した左腕を見て青ざめました。先生は私の腕を写真にとり、ワクチンの重篤な副反応として厚生労働省と自治体の地域保健課にすぐ連絡しました。

2月10日午後には少し良くなり、腕は肘あたりまで上がるようにはなりましたが、腕の芯からの痛みは続きました。腕は動かすことができないので、血流が悪くならないようにと三角巾で吊りました。腕の紫色が治まるまでの1、2週間は吊っていました。

その後も腕の痛みは続いたので、A診療所の先生に紹介状を書いてもらい、Bクリニックを受診し、週に1回リハビリをするようになりました。肩や首周りのマッサージ、可動域訓練、薄いテープをちぎる訓練などをします。Bクリニックの先生にC病院で腕のMRI検査を受けるように勧められ、検査をしましたが、腕に異常はありませんでした。Bクリニックの先生は、子宮頸がんワクチンを接種して私と同じような症状が出た子が3、4人来たことがあると言っていました。その子たちは3、4か月で良くなったそうです。私は良くなることを期待しましたが、痛みは引きませんでした。痛みが続くので、5月2日に痛み止めの注射を打ちました。私は子宮頸がんワクチンを打って以来、注射は見るのも嫌な状態でしたが、少しでも良くなる方法がないかと、わらをもすがる思いでした。でも、翌日良くなったものの直ぐその翌日には痛みが復活したのでがっかりし、打つのをやめました。

5 2013年2月以降の症状の悪化と病院の対応

2012年2月以降、しばらくの間は左腕が痛いだけでした。その後、時々頭痛がするようになりました。9月9日には、あまりの頭痛と吐き気で、学校を休まざるを得ませんでした。風邪をひいていないのに頭痛で学校を休むのは私にとって初めてでした。その後も11月8、9日は頭痛がひどくて学校を休みました。

私の症状が急にひどくなったのは、2013年2月頃からです。2月6日、肩の痛みと頭痛、吐き気で学校を休みました。2月13日には学校で突然目の前が真っ暗になり、気が付いたら保健室にいました。失神したのですが、こんなことは初めてでした。失神後数日間、足に力が入りづらくなり、伝い歩きをする状態になりました。原因が分からないので、15日にはBクリニックと脳神経外科のDクリニックを受診しました。CTを撮りましたが、異常は見つかりませんでした。

2月16日以降、リハビリで良くなっていた腕の痛みがまたぶり返し、上から被るセーラー服を着ることができなくなり、鞆も持つことができなくなりました。26日には、肩の痛みが強く、起き上がることができず、食事をすることもできませんでした。その後も3月4日まで、頭痛、ふらつき、めまい、吐き気、足のむくみ、目のちらつき、倦怠感、

脱力感、蕁麻疹が出ました。

3月5日になり、腕の痛みが半減し、症状が少し落ち着きました。症状の原因が分からないので、3月11日にE医大整形外科を受診しました。筋電図を撮りましたが、異常はありませんでした。そこから、受診科のたらい回しが始まりました。

3月15日～4月4日は、不眠、胸の痛み、呼吸困難（3～4分ほど）、手足の痺れ、息苦しさ、手足の脱力が出てきました。唐揚げやパンと言った、私の好物も気持ち悪くて食べることができなくなりました。

4月2日にE医大整形外科で頸椎のMRIを撮り、4月4日にCRPSの疑いと診断されました。整形外科では処置することができないと言われ、麻酔科を紹介されました。麻酔科で、子宮頸がんワクチンの副作用ではないかと親が先生に話したのですが、先生には、ワクチンの添付文書に私に出ているような症状は書いてないからそんなはずはない、と言われてしまいました。3、4時間待たされた挙句の先生の言葉に、がっかりしました。

4月以降も過呼吸になったり、両足が痺れたり、足に力が入らなくなったり、胸や足が痛くなったり、足がむくんだり、右手の力も入らなくなったり、吐き気がひどくなったりといった症状が続きました。身体が辛く、ただただ寝ていたいという状態でした。足が痺れたり力が入らなくなったりして歩けない時は、足が異様に冷たくなりました。4月8日以降は痺れや脱力で自力で立てなくなり、車椅子で移動するようになりました。この頃から、微熱が37.5度くらい出る日が週のうち3、4日あるようになりました。

4月10日にはE医大のペインクリニックを受診しました。肩の痛みを取る治療はできるけれど根本治療ではない、両足の冷感冷感冷え性だと言われ、過呼吸外来、いわゆる精神科の受診を勧められました。精神科は4月13日に受診しましたが、精神的には問題はなく、過呼吸の理由も分からないと言われました。

父親が膠原病ではないかと考えて、4月16日に膠原病の治療で有名なFクリニックを受診しました。膠原病の疑いは低いと診断され、E医大の神経内科で精密検査を受けるように勧められました。

4月19日からE医大神経内科で検査入院をし、MRI検査、血液検査、肺機能検査、髄液検査等あらゆる検査をしました。しかし、27日に機能的な異常はなく、原因は分からないと言われ、退院しました。そして、今後は精神科でメンタルケアを進めていくように言われました。歩けないことも精神的な問題とされたのが、本当に悲しかったです。その後、SSRI、サインバルタ、リフレックス、デパス、セルシンなど様々な抗うつ薬を飲みましたが、SSRIとサインバルタは気持ちが悪くなり、リフレックスは眠くて起き上がることができなくなり、デパスは起き上がろうとしたら倒れるなどして、かえって体調が悪くなり、やめました。

4月30日、E医大での検査を持ち、再度Fクリニックを受診して相談しましたが、経過観察するしかないと言われてしまいました。

E医大では治療できないと言われたので、2013年5月27日、G病院の麻酔科を受診しました。G病院では、CRPSの疑いが強いと診断され、ステロイドのパルス療法と近赤外線療法をされました。腕の痛みをとるため、タイミングをみて神経節ブロックをするように勧められました。その後、神経節ブロックのため、1週間の入院を3回しました。現在もG病院に通院しています。

6 2013年9月～10月にかけての記憶障害

2013年9月頃、自分の記憶が明らかにおかしいと感じるようになりました。試験のために一度覚えたものを見直したところ、まったく新しいものを見るような感覚になってしまいました。いつも使っている最寄り駅すら初めての駅のようにわからなくなって迷ってしまい、GPSを使って家に帰りました。友達の名前もわからなくなってしまいました。10月頃には元に戻りましたが、自分でもわけが分からず、怖くなりました。

7 学校と日常生活

2012年2月以降、腕の痛みが続き、腕を上げることができなくなったので、髪の毛を洗うときや制服を着るときはいつもお母さんに手伝ってもらうようになりました。

2013年2月以降、急に症状が悪化し、頭痛、肩・腕の強い痛み、吐き気、ふらつき、めまい、手足の痺れ、脱力、冷感、胸・足の痛み、呼吸困難、過呼吸、微熱、口内炎、生理痛の悪化等の症状が出るようになりました。腕の痛みが強いので、セーラー服の制服を着ることができなくなりました。鞆を持って登校するのが大変になり、親に付き添ってもらって電車を通ったり、車で送ってもらったりするようになりました。

疲れやすく、学校で階段を上ると頭痛が増し、肩甲骨の後ろが痛くなりました。

せっかく学校に行って授業に出ようとしても、5分とたたずに具合が悪くなり、すぐに保健室に行くこともありました。特に頭痛はひどいもので、急に後ろから殴られたかのように、発作的にカーンときます。短いときは5分、長いときは1時間くらい続きます。くらくらして、とても立てるような状態ではなく、泣きながら耐えるしかありません。

私の通っている学校は中高一貫校で、何もなければ副部長をしていたバドミントン部を高校でも続ける予定でした。しかし、とても続けることができない体調になってしまったので、中学3年生として引退する時期にやめざるを得なくなりました。

4月からは移動は車椅子になってしまい、お風呂やトイレはずっとお父さんやお母さんに手伝ってもらうようになりました。

学校の先生や友達は理解があって、親切にしてくれるので、週のうち半分くらいはなんとか頑張って通っています。でも、倒れたり具合が悪くなったりして周りに迷惑をかけるのがとても辛いです。出席日数が必要なので、具合が悪いときでも授業には出るように言われますが、寝ていていいと言ってもらい、出席として数えるために必要な20分間教室にいたら起こしてもらい、保健室に行かせてもらったりもしています。今でもギリギリ進級できている状況で、今後が不安です。

通っている学校は大学もあるので、内部推薦で大学に進学したいと考えています。出席日数については大幅に配慮してもらっています。

8 私の思い

私はワクチンを接種して以降、症状が良くなることはなく、症状が付け加わる一方です。今でも左肩・腕の強い痛みは続き、左手の握力は0のままで薄いテープすらちぎることができませんし、頭痛、手足の痺れ、脱力、冷感、胸・足の痛み、めまい、吐き気、微熱等も続きます。治療法がわからず、将来が不安です。こんな身体になってしまったことが本当に悲しく、私の一番の願いは元の身体に戻ることです。体育の授業を見学するときなど、みんながやっていることができないとき、辛いです。早くみんなと一緒にできるようになりたいです。

高校3年生は、みんなが将来の夢を考え、受験する大学を選び、志望理由を書く時期で

す。周りの友達はみんな大学受験しますし、私も以前はそのつもりでした。今の私の体調では大学受験は無理なので、内部推薦を希望していますが、大学には理系の学部がありません。私は星が好きで、プラネタリウム関係の仕事をしたと考えていましたが、理系の学部に行くことができず、将来の方向性が制限されてしまうのが悔しいです。自分の将来の夢を書くことができないのが悲しいです。